

DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) 愛称:世界家主倶楽部

追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用

月次運用レポート

2010年3月

商品の特色(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

日本を除く世界各国の不動産投信等(REIT)を主要投資対象とします。

DIAM US・リート・オープン・マザーファンドおよびDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等(REIT)に投資します。

不動産投信等(REIT)への投資を通じて安定的に配当を獲得することを目標として運用します。

信託財産の着実な成長と世界各国の不動産投信等(REIT)への投資を通じて安定的に配当を獲得することを目標とします。

なお、原則として為替ヘッジは行いません。

毎月9日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。また、毎年6月、12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。

運用に関する権限は、デビス・セレクトド・アドバイザーズ(米国)およびコロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント(豪州)に委託します。

主なリスクと費用(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。

その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- | | | |
|---------|-------|--|
| 価格変動リスク | | 実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 為替リスク | | 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 金利リスク | | 一般的に金利が上昇すると不動産投信等(REIT)の価格は下落します。当ファンドは、実質的に不動産投信等(REIT)に投資をします。金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 流動性リスク | | 実質的に投資した不動産投信等(REIT)によっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 信用リスク | | 実質的に投資対象とする不動産投信等(REIT)が、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |

当ファンドへの投資に伴う主な費用はお申込手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は8枚ものです。P.7の「本資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

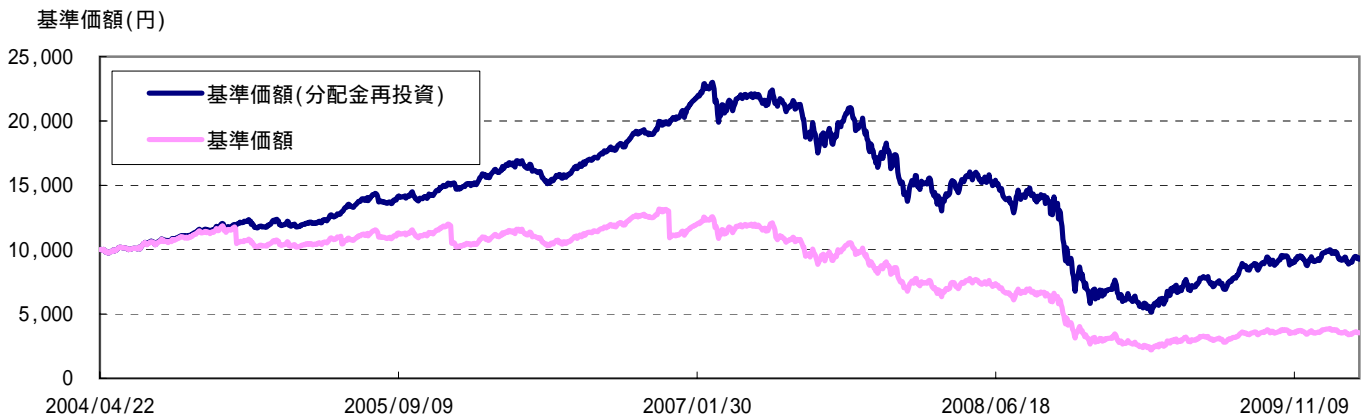
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称:世界家主倶楽部)
追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用
月次運用レポート (2010年3月)

基準価額の推移



基準価額(分配金再投資)は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 分配金再投資後基準価額 = 前日分配金再投資後基準価額 × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。尚、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 (設定日:2004年4月23日)

基準価額・純資産総額

基準価額	3,520 円
解約価額	3,509 円
純資産総額	320,503 百万円

ポートフォリオ構成

	比率
不動産投信	94.96%
現金等	5.04%
組入銘柄数	86

比率は純資産総額に対する実質組入比率

騰落率(税引前分配金再投資)

	1カ月 (2010/01/29)	3カ月 (2009/11/30)	6カ月 (2009/08/31)	1年 (2009/02/27)	2年 (2008/02/29)	3年 (2007/02/28)
当ファンド	0.84%	5.58%	3.80%	59.56%	-38.55%	-56.90%

当ファンド騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。



モーニングスター アワード “ファンド オブ ザ イヤー2009”
『優秀ファンド賞(オルタナティブ型 部門)』受賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2009”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2009年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。オルタナティブ型 部門は、2009年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド239本の中から選考されました。

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称:世界家主倶楽部)

追加型投信/海外/不動産投信/自動けいぞく投資適用

月次運用レポート (2010年3月)

分配金情報(税引前)				直近3年分		
第33期 (2007.03.09)	45 円	第45期 (2008.03.10)	45 円	第57期 (2009.03.09)	45 円	
第34期 (2007.04.09)	45 円	第46期 (2008.04.09)	45 円	第58期 (2009.04.09)	45 円	
第35期 (2007.05.09)	45 円	第47期 (2008.05.09)	45 円	第59期 (2009.05.11)	45 円	
第36期 (2007.06.11)	645 円	第48期 (2008.06.09)	45 円	第60期 (2009.06.09)	35 円	
第37期 (2007.07.09)	45 円	第49期 (2008.07.09)	45 円	第61期 (2009.07.09)	35 円	
第38期 (2007.08.09)	45 円	第50期 (2008.08.11)	45 円	第62期 (2009.08.10)	35 円	
第39期 (2007.09.10)	45 円	第51期 (2008.09.09)	45 円	第63期 (2009.09.09)	35 円	
第40期 (2007.10.09)	45 円	第52期 (2008.10.09)	45 円	第64期 (2009.10.09)	35 円	
第41期 (2007.11.09)	45 円	第53期 (2008.11.10)	45 円	第65期 (2009.11.09)	35 円	
第42期 (2007.12.10)	45 円	第54期 (2008.12.09)	45 円	第66期 (2009.12.09)	35 円	
第43期 (2008.01.09)	45 円	第55期 (2009.01.09)	45 円	第67期 (2010.01.12)	35 円	
第44期 (2008.02.12)	45 円	第56期 (2009.02.09)	45 円	第68期 (2010.02.09)	35 円	
					累計分配金	8,990 円

1 分配金は1万口当たり

2 毎年6月および12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。

3 分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

組入上位10銘柄				(単位:%)
No	銘柄	国名	用途	比率(%)
1	ウエストフィールド・グループ	オーストラリア	小売り	4.53
2	ユニベイル・ロダムコ	フランス	混合型	3.66
3	コーポレート・オフィス・プロパティーズ・トラスト	アメリカ	オフィス	2.73
4	リンクリート	香港	小売り	2.67
5	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	オフィス	2.57
6	デジタル・リアルティ・トラスト	アメリカ	オフィス	2.47
7	デクサス・プロパティ・グループ	オーストラリア	混合型	2.46
8	CFSリテール・プロパティ・トラスト	オーストラリア	小売り	2.43
9	アメリカンキャンパス・コミュニティー	アメリカ	住居施設	2.31
10	フェデラル・リアルティ・インベストメント・トラスト	アメリカ	小売り	2.26

比率は純資産総額に対する実質組入比率

国別配分		
発行国	組入比率	
北米	米国	38.56%
	カナダ	7.99%
	計	46.56%
欧州	ベルギー	1.01%
	フランス	7.38%
	ドイツ	0.26%
	オランダ	5.11%
	英国	7.35%
	計	21.12%
アジア・中東	オーストラリア	17.75%
	ニュージーランド	1.27%
	香港	3.24%
	シンガポール	5.03%
	計	27.29%
合計	94.96%	

比率は純資産総額に対する実質組入比率

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



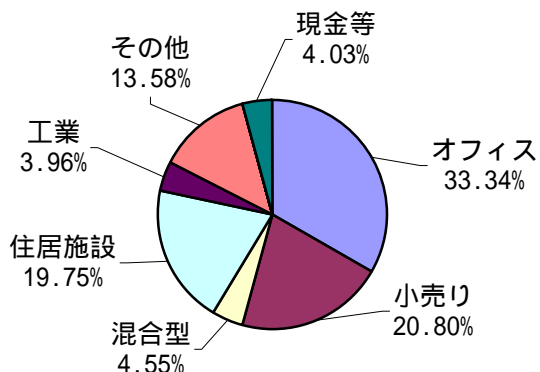
DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称:世界家主倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用

月次運用レポート (2010年3月)

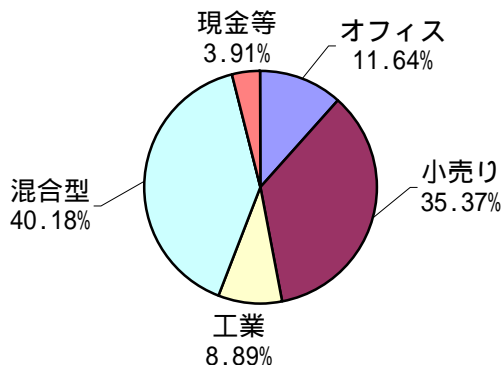
各マザーファンドにおける用途別組入比率(純資産総額比)

DIAM US・リート・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



用途分類は、デビズ・セレクト・アドバイザーズ社独自の分類方法によるものです。

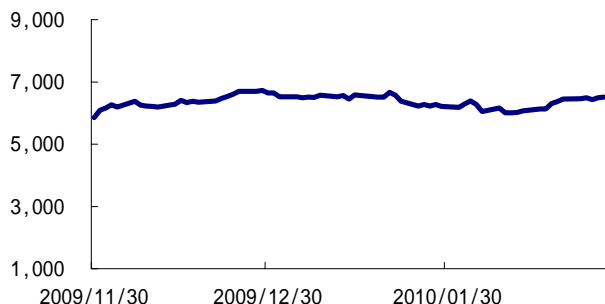
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



用途分類は、コアール・ファースト・ストア・アセット・マネジメント社独自の分類方法によるものです。

参考市況動向 直近3ヵ月

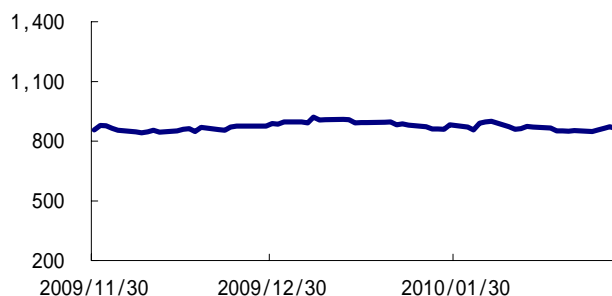
FTSE NAREITエクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスの動向



FTSE NAREITエクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスは、FTSEにより公表・算出されている米国の代表的なREITの指数(配当込み)です。

出所: Bloomberg

S&P/ASX 200プロパティ・トラスト・インデックスの動向



S&P/ASX 200プロパティ・トラスト・インデックスとは、ASX200(オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成される指数)の中の不動産関連証券で構成される指数です。

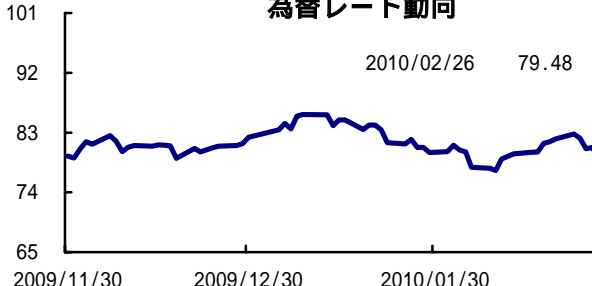
出所: Bloomberg

<アメリカドル・円> 為替レート動向



為替レートはTTM(東京外国為替市場の対顧客電信仲値)を使用しています。

<オーストラリアドル・円> 為替レート動向



為替レートはTTM(東京外国為替市場の対顧客電信仲値)を使用しています。

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称：世界家主倶楽部)

追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用

月次運用レポート (2010年3月)

2月のマーケット動向と当ファンドの動き

2月のREIT市場は、中国の金融引き締め懸念や一部欧州国の財務懸念が高まったことなどから軟調な展開となりましたが、M&A(合併・買収)に対する期待が高まり、米国REIT市場では反発する展開となりました。また、為替市場においては、対ユーロや対ポンドを中心に円高が進行する展開となりました。このような中、当ファンドの基準価額は前月末比で0.84%上昇しました。

米国では、月前半は、一部欧州国の財務懸念が高まったことから下落する局面や一部REITの好決算発表が支援材料となり上昇する局面もある一進一退の展開となりました。しかし、月半ば以降は、発表された経済指標や企業決算が概ね堅調な内容だったことに加え、サイモン・プロパティーズ・グループ(小売り)が、2009年4月に連邦破綻法11条の適用を申請したゼネラル・グロース・プロパティーズ(小売り)に対し買収提案したことや、FRB(米連邦準備理事会)議長による低金利政策を当面維持するとの発言などが好感されたことから、上昇する展開となりました。このような市場環境の中、当ファンドのマザーファンドであるDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比4.96%上昇しました。月内の主なオペレーションとして、エンターテインメント・プロパティーズ・トラスト(その他)及びアパロンベイ・コミュニティーズ(住居施設)の買い増しやキムコ・リアルティ(小売り)及びプロロジス(工業)の全部売却を行いました。

米国以外の地域については、まちまちの展開となりました。欧州・英国REIT市場では、ギリシャを始め、一部欧州国の財務懸念が高まり、またユニベル・ロダムコ(フランス・混合型)の慎重な2010年の業績見通しが嫌気され、当リートの価格が月前半に大幅に下落した影響もあって、弱含みの展開となりました。アジアREIT市場では、香港において予想を大幅に上回る価格で公有地が落札されたことが好感され不動産株が上昇したことや米国の低金利を維持する姿勢などが支援材料となり、月末にかけて上昇する展開となりました。オーストラリアREIT市場では、2009年下半期の決算発表において赤字に転じたREITや損失が縮小したREITを中心に上昇する局面もありましたが、中国の金融引き締め懸念や欧州における財務不安などが圧迫要因となり、一進一退の展開となりました。このような市場環境の中、当ファンドのマザーファンドであるDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、円高の進行もあり、前月末比1.61%下落しました。月内の主なオペレーションとして、INGインダストリアル・ファンド(オーストラリア・工業)の買い増しを行いました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

米国ではREITの2009年第4四半期の決算発表が終了しました。結果は概ね市場予想の範囲内でしたが、2010年の見通しについては概して慎重なものでした。既存物件からの賃料収入は底打ちしてくるものと思われませんが、雇用が本格的に回復してくるまではキャッシュフローの大幅な回復は見込めない状況です。ただ、信用環境の改善から物件取得については前向きな姿勢で臨む経営者が多く、価格については以前期待されていたほど格安な価格では取得できないものの、適正価格での取得が進むものと思われまます。よって、今後しばらくは既存物件の収益の伸び悩みに対して、経営戦略に沿った物件取得を行うREITの長期的な成長が期待されるものと思われまます。また足元では、小売REIT大手のゼネラル・グロース・プロパティーズの買収合戦の行方や、ギリシャ等のソブリンリスク(国の信用力に対するリスク)の動向といった材料に左右される展開となるものと思われまます。運用方針としては、市場の動向を注視しながら、保守的な財務体質かつ長期的にみて成長見込みがあるREITを選別して投資していき、引き続き安定的な配当を維持できるポートフォリオを構築していきます。

英国、欧州ではギリシャのソブリンリスク対策は未だ不透明ではありますが、月末にフランスREIT大手のユニベル・ロダムコ(混合型)が5年債をベンチマーク金利+1.05%と低金利で発行するなど、一部優良REITの信用環境は落ち着いており、2月の軟調な展開からのリバウンドが見られます。ロンドンではオフィスの供給が逼迫していることからREITによる開発計画が持ち上がるなど明るい兆しも出てきています。また、フランスやイタリアではショッピングセンターの売上が活発化しています。オーストラリアでは3月初旬にRBA(オーストラリア準備銀行)が市場予想通り0.25%利上げ、政策金利は4.00%となりました。市場では今後数ヶ月で5.00%まで引き上げられると見られています。また、REITの決算発表では鑑定評価は底入れし、小売REITでは消費者信頼感が強いオーストラリアでの賃料収入が好調なことを背景に開発の再開など成長へのシフトが見られますが、オフィスはまだ空室を埋める等の既存物件のてこ入れが先行している様子です。財務基盤の再構築が進んだREITも多く、金利上昇の影響は限定的になってくると思われまます。アジアでは、中国の金融引き締めの行方によって左右される展開が予想されますが、実物不動産市場では、雇用、景況感の改善からシンガポール、香港中心部のオフィスでグレードの高い案件を中心に供給が逼迫気味になってきています。運用方針としましては、引き続き保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資していきまます。

DIAMアセットマネジメントは
リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2009において
「最優秀運用会社賞(総合部門)」を受賞しました。



「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2009」は、世界21都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパー リーダー レーティングシステム(リップパー リーダーズ)」の中の「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を用いています。リップパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リップパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

(c) Thomson Reuters 2009. All rights reserved.

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称:世界家主倶楽部)
追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用
 月次運用レポート (2010年3月)

お申込みメモ(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

お申込み	お申込みの受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、オーストラリア証券取引所の休業日またはオランダ、フランス、イギリスの祝祭日に該当する日(以下「海外休業日」といいます。)には受付を行いません。
お申込単位 (当初元本1口=1円)	各販売会社が定める単位 「分配金受取コース」および「分配金自動けいぞく投資コース」によるお申込みが可能です。 お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。 お申込単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	お申込日の翌営業日の基準価額
ご換金	ご換金の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 海外休業日には受付を行いません。 大口の換金請求に制限を設ける場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、受付を中止することおよび受付を取り消すことがあります。
ご換金単位	各販売会社が定める単位
ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額(ご換金申込日の翌営業日の基準価額の0.3%)を差し引いた価額
ご換金代金受渡日	原則としてご換金申込日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	無期限です。(当初設定日:平成16年4月23日)
繰上償還	受益権口数が10億口を下回った場合等には、償還することがあります。
収益分配	月1回の決算時(原則として毎月9日、休業日の場合には翌営業日。)に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。 分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

お客様にご負担いただく費用について(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込時	お申込手数料	お申込価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。	
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)		
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率1.659%(税抜1.58%)を日々ご負担いただきます。	
その他の費用等	信託事務の処理に要する費用、監査報酬、有価証券などの売買にかかる手数料、外貨建資産の保管に要する費用などが信託財産から支払われます。なお、受託会社の立て替えた立替金の利息、借入金の利息がかかる場合は、当該費用が信託財産から支払われます。(その他の費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)	なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

照会先

・委託会社のホームページ	URL http://www.diam.co.jp/
・委託会社の電話番号	03-3287-3111 受付時間:営業日の午前9時~午後5時

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)

追加型投信/海外/不動産投信/自動けいぞく投資適用

月次運用レポート(2010年3月)

委託会社その他関係法人の概要

委託会社	DIAMアセットマネジメント株式会社(信託財産の運用指図等を行います。)
受託会社	みずほ信託銀行株式会社(信託財産の保管・管理業務等を行います。なお、受託会社は信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)
販売会社	次頁の販売会社一覧をご覧ください。 (募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資、収益分配金・一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。)
投資顧問会社	デービス・セレクトド・アドバイザーズ コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント (委託会社との投資一任契約に基づき、デービス・セレクトド・アドバイザーズはDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの信託財産の運用指図等を、コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメントは、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの信託財産の運用指図等を行います。)

投資信託ご購入の注意

証券投資信託は、

預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をあらかじめお渡しいたしますので、必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料のお取扱いについてのご注意

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をあらかじめお渡しいたしますので、必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性等について同社が保証するものではありません。また、掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

本資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金及び手数料は計算に含まれておりません。

本資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に不動産投信等(REIT)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

当資料は8枚ものです。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)

追加型投信/海外/不動産投信/自動けいぞく投資適用
月次運用レポート(2010年3月)

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2010年3月9日現在

商号	登録番号等	日本証券協会	社団法人投資信託協会	社団法人日本証券投資顧問協会	社団法人金融先物取引業協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号					
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号					
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号					
イーバンク銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社みちのく銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第11号					
株式会社東邦銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第7号					
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号					
株式会社常陽銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号					
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号					
株式会社第四銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号					
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号					
株式会社福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号					
株式会社三重銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第11号					
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号					
株式会社泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第12号					
株式会社池田銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号					
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号					
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号					
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号					
株式会社阿波銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号					
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号					
株式会社琉球銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局(登金)第2号					
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号					
株式会社北洋銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号					
株式会社東和銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第60号					
株式会社大正銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第19号					
株式会社長崎銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第11号					
第一生命保険相互会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第115号					
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第135号					
オリックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第55号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号					
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号					
三菱UFJ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第179号					
そしあす証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号					
トレイダーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第123号					
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号					
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号					
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号					
廣田証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第33号					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号					
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					
オリックス信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第11号					1

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- 1 新規募集の取扱い及び販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は8枚ものです。

P.7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

